

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 明輝会	代表者	川上 秀一	法人・事業所の特徴	住み慣れた地域で暮らし続けるため、家族と地域、医療・介護・福祉が支えることができるよう柔軟なサービス提供を行っている。 町内会へ加入しており、行事や会議への参加を行い、地域とのつながりを持つようしている。地域交流喫茶店の開催を通じて利用者以外の方との交流も行っている。
事業所名	小規模多機能ホーム すばる	管理者	井手口 崇		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	1人	1人	人	人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	全体への説明以外にも、新人職員には、個別で説明を行っていく。	新人職員に対しては、個別に説明を行い、理解に努める事ができた。サービス評価の目的意識が薄れてきているので、その他の職員に対しても定期的に説明が必要と感じた。	今後もすべての職員で取り組んでいてもらいたい。目的の説明は、重要と考える。	入退職に伴う、職員の入れ替わりも起こっているので、全体への説明・新人職員への説明は継続して実施。 改善計画の進捗状況を職員会議で振り返る場を設ける。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方や訪問者に対しての挨拶は継続して行う。 すばると東風の玄関周りの掃除を行い、整理整頓に努める。	地域住民や訪問者への挨拶は、行えている。玄関周りの掃除、整理整頓については、できていない事もあった。特にバタバタしていると整理整頓がおろそかになっていた。	事業所を訪問した時には、挨拶をしてもらっている。面会や会議等で訪問した際は、事業所の様子、雰囲気なども知る事ができている。	目立つ場所（玄関や入口周辺）の整理整頓を行えているかチェックし、職員会議で振り返る場を設ける。
C. 事業所と地域のかかわり	地域行事には、ご利用者も参加できるように、職員も同行する。 地域行事には、出来るだけ多くの職員とご利用者が交代で参加できるようにする。 ありがとう 515 も継続して開催し、多くの職員が交代で参加できるようにする。	地域行事には、ご利用者も一緒に参加し、交流をもてた。町内会の生き生き体操にもご利用者が参加している。 地域行事、ありがとう 515 についても、管理者とケアマネが中心ではあったが、他の職員も参加の機会を作ることができた。	町内会にも加入してもらっており、今年度は「福祉部長」の職も担ってもらっている。施設のご利用者についても、町内会の行事に参加してもらっているので、今後も継続して参加してもらいたい。町内の運動会では、ありがとう 515 からの出店もしてもらっている。	行事ごとに参加職員をローテーションし、より多くの職員が参加できるように調整。 参加後にミーティングで職員の意見を収集し、次の参加に活かす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取り組み	地域行事には、出来るだけ多くの職員とご利用者が交代で参加できるようにする。	地域行事には、ご利用者も一緒に参加し、交流をもてた。 近隣のお店や飲食店、温泉施設などご利用者を連れて外出する機会も増えている。	施設のご利用者についても、町内会の行事に参加してもらっているので、今後も継続して参加してもらいたい。	参加できる行事が多くなるよう、地域の行事情報を定期的に収集し、職員と共有する。 近隣のお店や飲食店、温泉施設などへの外出を継続的にを行い、利用者が楽しめる活動を増やす。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、地域への行事参加報告や事例報告を行う事で、興味関心を持ってもらう。	運営推進会議では、地域への行事参加報告や事業所での外出支援の報告、事業所で看取りを行った話など行う事ができた。	運営推進会議で、地域への行事参加報告や事業所での外出支援の様子など報告をもらっている。	地域行事や外出支援に関する報告に加え、具体的な成果や利用者の反応を交えた報告を行うことで、会議参加者がより興味を持てるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	救急救命措置について、勉強会を実施する（動画視聴、マニュアルの確認）。 火災を想定した訓練も、引き続き行う。	消防署と連携した火災時の避難訓練については実施出来ている。 救急救命措置については、今年度の勉強会の実施ができていない。	事業所の防災・災害対策についてはわからない事が多い。最近では、地震などの自然災害も多いので、事業所としても取り組みも教えてほしい。	火災訓練を年に複数回実施し、訓練のたびに訓練内容のフィードバックを行い、改善点を把握・報告する。専門機関と一緒に救急救命措置について勉強会を実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月16日（19：00～20：00）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	瀬戸口、四元、佐藤、宮本、中釜、折田、清藤、森田、川添、岡元、高城、沖田、國生、吉留（純）、吉留（文）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	3人	3人	6人	15人

前回の改善計画	● ファイルの整理担当を決め、整理を行う。（必要な情報を精査し、見出しを付ける）
前回の改善計画に対する取組み結果	● ファイルの整理担当を決めておらず、整理出来なかった。 ● 見出しをつけることも出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	10	2	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	11	3	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	4	10	1	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのために配慮していますか？	3	9	3	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 利用開始前に、CMを中心に状態確認を行い、知り得た情報は事前にファイルに綴ることで、確認できるようにしている。 ● サービス開始前より管理者・CMを中心に事前訪問を行い、関係作りを行っている。 ● 特に利用開始当初は、利用者への声かけ・気遣いを行い、不安軽減に努めている。 ● ミーティングやタブレットでの情報共有ができています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 見出しがなく、ファイルの整理が不十分で、情報がすぐに見つからない。 ● ミーティングの開催はできているが、内容が具体的でなく、ケアの検討に至っていないことが多い。 ● 本人の身体状況以外のニーズの共有が不十分。 ● 本人のペースに合わせるのではなく、スタッフ側のペースに合わせてしまっている。 ● 家族と関わる機会が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
● 必要な情報を勉強会で精査する。 ● 整理担当を決め、利用者名の見出しを付ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月16日(19:00~20:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 瀬戸口、四元、佐藤、宮本、中釜、折田、清藤、森田、川添、岡元、高城、沖田、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	4人	8人	15人

前回の改善計画	● すばるの利用者と一緒にしたいことを紙に書いて、実行をしていく。その中でしたいことを発見していく。紙への記載は3か月に1回、一人1枚以上は書く。 ● 担当者を決めて、集計してチェックを行う。実施計画を提案していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	● 利用者と一緒にしたいことを紙に書くことは出来なかった。 ● 担当者も決めておらず、実施計画の提案も出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	3	9	2	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	3	10	2	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	9	2	15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	5	3	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 数名ではあるが、実践した内容をミーティングで発信することはできている。 ● 利用者とのコミュニケーションを通じて、「～したい」という目標を聞くことができています。 ● 担当している利用者に対し、短期目標を理解し、それを達成できるように関わっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● ファイルに綴ってはいるが、各スタッフが本人の目標、当面の目標の把握できていない。 ● ミーティングにおいて目標達成に関する進捗状況の評価は、ほとんどできていない。 ● すべての利用者の、ゴールやケアプランの把握はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
● すばるの利用者と一緒にしたいことを3か月に1回、1人1枚以上紙に書く。その中でしたいことを発見していく。 ● 担当者を決めて、集計してチェックを行う。実施計画を提案していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月16日(19:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 瀬戸口、四元、佐藤、宮本、中釜、折田、清藤、森田、川添、岡元、高城、沖田、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	2人	5人	5人	15人

前回の改善計画	● ファイルの整理担当を決め、整理を行う。(必要な情報を精査し、見出しを付ける)
前回の改善計画に対する取組み結果	● ファイルの整理担当者を決めておらず、整理出来なかった。 ● 見出しをつけることも出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	8	4	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	11	1	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	12	1	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	9	1	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	10	2	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● CMを中心に「知るためのシート」を契約時に記入してもらっている。記入してもらったものはファイルに綴っている。 ● 本人の状態に変化のある時にはミーティングなどで話し合い、情報の共有ができている。 ● 利用者の体調・変化についてその都度、情報共有できている。 ● いつもと違う様子や、体調不良時には、その時々に合わせてケアができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● これまでの暮らし方の把握が十分にできていない。 ● スタッフ一人一人が持っている情報の共有ができていない。 ● 以前の暮らしを10個以上は把握できていない。 ● ファイルの整理が出来ておらず、活用ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
● 必要な情報を勉強会で精査する。 ● 整理担当を決め、利用者名の見出しを付ける	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月16日(19:00~20:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	瀬戸口、四元、佐藤、宮本、中釜、折田、清藤、森田、川添、岡元、高城、沖田、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	4人	7人	15人

前回の改善計画	● ファイルの整理担当を決め、整理を行う。(必要な情報を精査し、見出しを付ける)
前回の改善計画に対する取組み結果	● ファイルの整理担当者を決めておらず、整理出来なかった。 ● 見出しをつけることも出来なかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	8	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	4	1	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	9	4	1	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	10	4	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● CMを中心に「知るためのシート」を契約時に記入してもらっている。記入してもらったものはファイルに綴っている。 ● 家族との連絡・相談がしっかり行われており、利用者の様子を伝えることができている。 ● 家族や本人からどのように過ごしているか聞き取りをし、共有できている。 ● 「よかよか体操」や「ありがとう515」に利用者が参加し、地域とのつながりも持てている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 利用者の暮らしに必要な、民生委員や地域資源の情報を十分に把握できていない。 ● 利用者のこれまでの生活が十分に把握できていない方もおり、つながりも見えていない方がいる。 ● ファイル整理が進んでおらず、最新の情報に更新できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
● 必要な情報を勉強会で精査する。 ● 整理担当を決め、利用者名の見出しを付ける	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月16日(19:00~20:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	瀬戸口、四元、佐藤、宮本、中釜、折田、清藤、森田、川添、岡元、高城、沖田、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	2	2人	15人

前回の改善計画	地域との行事、外出支援、事業所の行事を行った時は、ミーティングの場で報告を行い、地域との関りを意識してもらうきっかけを作る。(参加した職員が中心に行う)
前回の改善計画に対する取組み結果	外出支援の様子などは報告・共有するようにしているが、できている時と、できていない時がある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	9	3	1	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	9	0	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	10	1	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	9	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 利用者のその時々に必要な支援を提供できている。 - 状態変化時はミーティング等で情報共有できている。 「通い」「訪問」「宿泊」が適切に提供されており、急な対応もできている。 - 本人の状態やニーズに合わせて、サービスの提供を柔軟にできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 地域資源の活用は思うようにできておらず、どんな資源があるのかも十分に把握できていない。 - 行事や外出支援の実施後、報告がされる時とされない時があり、情報共有が不完全な場合がある。 - 一部の利用者しか地域との関りを持っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の民生委員や福祉団体、医療機関などのリストを作成し、それぞれの資源がどのように支援に役立つか、職員全員で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月16日(19:00~20:00)
6. 連携・協働	メンバー	瀬戸口、四元、佐藤、宮本、中签、折田、清藤、森田、川添、岡元、高城、沖田、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	8人	0人	15人

前回の改善計画	- 町内会の会議や行事に、管理者だけでなく職員も参加する。 - コロナの感染状況を見ながら利用者也一緒に地域行事に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	開催された地域行事には、管理職を中心に参加することが出来た。職員の参加も出来たが、限られている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4	8	0	3	15
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5	6	1	3	15
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	5	7	0	3	15
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	12	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
「ありがとう515」と運営推進会議の開催はできている。 - 退院カンファレンスやサービス担当者会議を通じて、他のサービス機関との協議が行われており、連携が取れている。 - すばる教室や「ありがとう515」の開催で、地域住民の方が事業所を訪れる機会が増えた。 - 町内会の活動には管理者を中心に参加できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 地域住民との関りは「ありがとう515」が主で、それ以外はあまりできていない。 - 地域行事や関係各所との会議には、主に管理者が参加しており、職員全体の関りが不十分。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の行事にローテーションで参加し、職員が1回は参加できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月16日(19:00~20:00)

7. 運営

メンバー 瀬戸口、四元、佐藤、宮本、中釜、折田、清藤、森田、川添、岡元、高城、沖田、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	5人	7人	15人

前回の改善計画
● すばるの利用者と一緒にしたいことを紙に書いて、実行をしていく。その中でしたいことを発見していく。紙への記載は3か月に1回、一人1枚以上は書く。 ● 担当者を決めて、集計してチェックを行う。実施計画を提案していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
● 利用者と一緒にしたい事を紙に書くことはできていない。 ● 担当者も決めておらず、実施計画の提案も出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	6	7	1	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	3	2	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	4	3	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2	8	3	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 「ありがとう515」、運営推進会議は開催できている。 ● ミーティングや勉強会等で全員ではないが、意見の発信ができている。 ● 利用者や家族からの話は聞くことができています。 ● 意見や苦情があった場合は、その都度、ミーティング等で情報共有・反映できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 会議等での意見は、発信するスタッフが偏っている。 ● 積極的に地域と協働した取り組みはできていない。 ● 利用者の意見を集計し、提案を行う機会が設けられていない。 ● 利用者がしたいことを、定期的に集める仕組みが欠けている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
● 利用者や家族の声を聞くために、サービス向上委員会を中心に「満足度アンケート」を実施する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月16日(19:00~20:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	瀬戸口、四元、佐藤、宮本、中釜、折田、清藤、森田、川添、岡元、高城、沖田、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	9人	1人	0人	15人

前回の改善計画	- ミーティングの中で、その日のヒヤリハットの有無を確認する。 - 事例があった時は、原因と対策を考えてヒヤリハットとして記載する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ヒヤリハットの記載は出来ており、ミーティング等で原因・対応を考え実施している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	7	1	1	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	8	0	2	15
③	地域連絡会に参加していますか	4	3	2	6	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	8	1	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 研修案内はグループラインにて情報発信され、誰でも参加できるような体制が整っている。 - 研修の実施・参加できている。(事業所としてオンライン研修を取り入れている)また、スキルアップや資格取得に向けての研修への参加もできている。 - リスクマネジメントには委員会を中心に取り組みを行えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会への参加はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域連絡会がいつ開催されているのか把握し、参加した時には内容を共有できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月16日(19:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 瀬戸口、四元、佐藤、宮本、中釜、折田、清藤、森田、川添、岡元、高城、沖田、國生、吉留(純)、吉留(文)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	5人	0人	1人	15人

前回の改善計画

- 引き続き、身体拘束防止委員会を中心に、アンケートの実施やオンライン研修の振り返りをしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 委員会を中心にアンケートの実施やオンライン研修の振り返りが出来ており、身体拘束・虐待についての知識を深めている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	4	0	0	15
②	虐待は行われていない	11	4	0	0	15
③	プライバシーが守られている	5	10	0	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	5	1	3	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	7	0	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 身体拘束・虐待はしていない。
- 個人情報・プライバシー管理は適切に行われている。
- 委員会を中心に身体拘束・虐待が起きない職場環境作りに努めている。
- 身体拘束・虐待防止のアンケート等で自分のケアの振り返りができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 基本的なプライバシーは守られていると思うが、他者のいる前で個人情報を大きな声で話している場面がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 引き続き、身体拘束防止委員会を中心に、アンケートの実施やオンライン研修の振り返りをしていく。